

事業番号	06 05 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	生物多様性保全事業	部局	環境部	課・室	自然保護課		
		実施期間	S46 ~	E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp		
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係							
政策の柱	持続可能で安定した暮らしを守る						

1 現状と課題

・「過剰な捕獲・採取」「里山や草原の管理の衰退」「外来種の移入・分布拡大」「気候変動の影響」などにより、野生動植物の生息環境が悪化している。
 ・このため、生物多様性を【知り】、人と人を【繋ぎ】、生き物を皆で【守る】、を多くの主体との協働により、希少種をはじめとする多様な種を安定的に存続する必要がある。

2 事業目的

生物多様性や生態系が暮らし・社会・経済の基盤であることを県民が学び、人と人とのつながりのなかで、あらゆる主体が自然環境に配慮して行動する、「人と自然が共生する信州」の実現を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①希少種やその生息環境の保全に、多様な主体が協働する体制の構築
- ・いきものを保全する活動団体へ、企業等から技術・資金・人材面の支援で協働する体制を推進するための、ガイドブックを制作
 - ・県民全体が生物多様性保全への機運を醸成するため、知って、学んで、楽しむ、親子フィールド学習会を開催
- ②希少野生動植物の保護対策を実施
- ・絶滅のおそれのある野生動植物について、県民・事業者等へ理解を広める基礎的な指標「レッドリスト」の改訂に着手
 - ・保護回復事業計画の策定から概ね5年を経過した計画の評価検証を実施
 - ・ライチョウ保護スクラムプロジェクトとして、ライチョウの生息状況を調査するとともに、登山者などから目撃情報を収集する
- ③生物多様性保全の促進のため、地域が取り組む外来生物対策を支援
- ・地域の対策が連携・協働して実施されるよう、外来種対策講習会を実施
 - ・県内に生息範囲を拡大しつつある外来生物の状況を把握し対策に反映するため、定着段階の変化をモニタリング

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	生物多様性保全パートナーシップ協定数	件	16	17	↗	19	↗	22	/	2027年度目標34件を達成するため、R5以降に年3件のペースで協定締結	
②	保護回復事業計画策定及び検証数	種	24	26	↗	29	↗	30	/	2027年度目標38種を達成するため、R5に1種、R6以降2種のペースで実施	
③	外来種対策講習会の開催	回	0	0	—	1	↗	1	/	防除を主体的・継続的に実施する地域と密接に関わる市町村職員に向けて、年1回の講習を実施する	

5 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		7.3
	(要求)		30,035		30,035	25,820	
R4年度	0	26,575	0	26,575	9,405	15,660	7.3
R3年度	0	20,354	△600	19,754	8,140	15,660	7.3

事業名	生物多様性保全事業	部局	環境部	課・室	自然保護課
-----	------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	人といきものパートナーシップ推進事業		2,434 千円	8,416 千円	(予算案) (要求) 12,331 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	【拡】生物多様性保全体制構築事業	委託	いきものを保全する活動団体を、技術・資金・人材面の支援で社会全体で支える「生物多様性保全パートナーシップ協定」を締結し、協働による保全を推進 企業に向けて支援を呼び込むため、協定制度や保全団体を紹介するガイドブックを制作		
2	【拡】ホットスポット保全対策事業	委託 補助金	希少種やホットスポットの保全に直結する対策を実施 御嶽山 田の原湿原再生委託（調査・対策検討）、環境学習・希少種保全（補助金3件）		
3	生物多様性ながの魅力発信プロジェクト	委託	将来の保護活動の担い手となる小学生を対象に体験型学習会を実施 親子フィールド学習 2回開催		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	希少種戦略構築事業		10,617 千円	11,712 千円	(予算案) (要求) 10,090 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	【新】レッドリスト改訂事業	直接	県民・事業者等への理解を広める基礎的な指標として、絶滅のおそれのある野生動物植物をまとめた「長野県版レッドリスト」を改訂するための検討を開始 R8改訂を目指し、改訂委員会・専門委員会の設置による内容検討を実施		
2	希少野生動物植物保護対策事業	直接	希少野生動物植物保護条例に基づき策定した保護回復事業計画の活動状況を評価し、計画の妥当性を検証する 保護回復事業計画の評価検証 1種（ヤシャイノデ）		
3	ライチョウ保護スクラムプロジェクト	委託	絶滅の危険度が高まっているライチョウの生息環境調査及び目撃情報投稿アプリ「ライボス」の運用により、多様な主体との連携による保護対策の実施 生息環境調査委託 1件、ライボス保守管理委託 1件		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
3	外来生物戦略構築事業		5,878 千円	5,011 千円	(予算案) (要求) 4,530 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	外来生物対策普及事業	委託	人体への健康被害防止、農林水産業被害や生態系被害の軽減のため、外来種対策の啓発、適切な駆除方法、活動の継続的実施を普及する 様々な主体の連携・協働・継続的な対応について市町村職員等を対象に講習会を開催		
2	外来生物防除対策事業	委託	県内に侵入や定着が拡大している外来哺乳類（アライグマ等）の目撃情報の把握や、捕獲個体の解剖分析により、各地域における定着段階をモニタリングし、防除・環境整備対策を促進する 捕獲個体を解剖し情報の蓄積と対策への反映（委託）		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
4	自然探勝会事業		600 千円	600 千円	(予算案) (要求) 600 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	自然探勝会の開催	委託	障がいのある方への自然にふれあう機会を提供するための自然探勝会の開催 県内の複数個所で開催(概ね2箇所程度)		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
5	県自然環境保全地域等標識版設置事業		825 千円	836 千円	(予算案) (要求) 2,484 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	標識版の撤去・更新	委託	自然環境保全地域、郷土環境保全地域の指定理由や区域、特色を広く県民に紹介するための案内標識板等の改修 老朽化・倒壊している標識の撤去 8基、老朽化した標識の更新 2基		